

地域再生計画(地方創生污水処理施設整備推進交付金)中間評価調書

都道府県名	山梨県	事業実施主体	富士吉田市	地域再生計画名	富士吉田市「美しい富士の里」水資源保全計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	富士吉田市都市基盤部上下水道工務課長 林 隆夫		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標値の実施状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績		基準年度			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率を62.4%から68.7%に向上	62.4%	H25	66.6%	H29	66.7%	68.7%	H31	○	中間年度の汚水処理人口普及率目標値66.6%に対し、66.7%と目標達成できている。今後においても浄化槽・公共下水道を効率的に整備することで目標達成できる見込みである。
	指標2	観光入込客数450万人から470万人に増加	450万人	H25	460万人	H29	509万人	470万人	H31	○	中間年度の観光入込客数目標値460万人に対し、509万人と大幅に上回っている。富士山世界文化遺産登録が主な要因と捉えているが、併せて汚水処理施設の普及が進み河川や池等の水質保全が図られ、今後も水辺と親しめる富士の里として観光客数目標が達成できる見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度(H29)	最終実績見込み						
	特別措置を適用して行う事業	公共下水道	2,000m	790m	1,790m	ルート選定によりコスト削減を図ることができており、引き続き汚水処理人口普及率が目標到達できるようルート選定し整備していく。					
		浄化槽(個人設置型)	475基	258基	436基	初年度のH27が74基と少なかったものの、H28以降は90基を超える個人設置申請がある。引き続き補助事業を継続し、汚水処理人口普及率の目標達成を目指す。					
	その他の事業										
	計画外で独自に実施した事業	明見湖公園保全推進事業	水辺に親しむ空間の創出			富士吉田市内の唯一残された自然と水辺を有する明見湖周辺の自然環境を保全するとともに、人と自然とのふれあえる場や住民の憩いの場として、明見湖公園の管理運営を行っている。					
		環境支援事業	河川清掃等による市内水域の水質改善の推進			「入山川を美しくする会」等の発足に伴い、地域を流れる河川の美化清掃を通じ地域の環境保全を図るとともに、人々の交流の輪を通じて美しいふる里づくりを目指す活動を支援している。					
		山林の維持管理等の水源の涵養による地下水の保全	山林の維持管理等の水源の涵養による地下水の保全			市民に良好な飲料水を確保するため、山林の維持管理による水源涵養、地下水の利用実態、地下水位・水質のモニタリング調査等を実施する。また、富士吉田市地下水保全条例により、地下水採取の適正化を図り地下水資源を保護している。					
④評価方法		富士吉田市地域再生計画評価会議を開催し、中間目標値の実施状況に関する評価・検討等を行った。									
⑤中間評価の公表方法		富士吉田市のホームページに掲載									
⑥計画全体の総合評価		本計画では公共下水道及び浄化槽(個人設置型)の整備を行い、汚水処理人口普及率の向上を図っている。公共下水道、浄化槽ともに計画整備量は若干下回っているものの、汚水処理人口普及率の中間目標値は達成できており、今後も最終目標達成が現実的である。									
⑦今後の方針等		当市における汚水処理人口普及率はまだまだ低い状況であり、今後においても計画的に整備を進めていく。また、公共下水道については普及活動に力を注ぎ、接続率を伸ばしていく。コストや地形状況を見ながら費用対効果が十分図られるよう対応していく。									